

樋口了一 59歳 俳優初挑戦

パーキンソン病と闘うミュージシャン

実話から生まれた希望と再生の物語。

ひとりぼっちじゃない
どん底の自分を救ったのは、
家族の愛とダンスだった！



いまダンスを？ するのは誰だ？

樋口了一
小島 のぞみ 山本 華菜乃 塩谷 瞬 IZAM 吉満 寛人 渋谷 哲平 新井 康弘
椿 鮎子 むかい 誠一 岡村 洋一 森 恵美 西田 聖志郎 澤田 拓郎 あべみほ 静 恵一 今安 琴奈
杉本 彩

監督・脚本・原作:古新 舜(「あまのがわ」「ノール・ヴォイス」)
企画:原案:松野 幹孝 エグゼクティブプロデューサー:古新 舜 協力プロデューサー:野村 展代、小川 順也、師尾 郁 ラインプロデューサー:赤間 俊秀
撮影監督:藤田 力 音楽:樋口了一、村上 ゆき 照明:渡辺 大介 録音:加藤 学 美術:本間 千賀子 スタylist:吉田 厚崇
ビューティディレクター:ビューティ★左口 助監督:高本 亮 編集:古新 舜 カラーグレーディング:福川 美希 VFXスーパーバイザー:渡辺 輝重
監音:岩波 昌志 医療監修:師尾 郁 PDダンス監修:マニシア ダンス振付:相沢 香
主題歌「いまダンスをするのは誰だ？」樋口 了一(テイチエンタテインメント)
製作:いまダンスフィルムパートナーズ 制作:コスモボックス 配給:アークエンタテインメント
協賛:ウチダンスフェスティバル 市進ホールディングス 森下仁丹 新しい贈与論 美浜神経内科 住友ファーマ エフピー
ポスト・サイエンティフィックジャパン Medtronic PARKINSON Laboratories 日本みらいキャピタル サンワエール
夢ふもと アートオフィスクリエイト サンワシステムズ キャンマークディングジャパン
後援:日本神経学会 日本神経治療学会 日本パーキンソン病・運動障害疾患学会(MDSJ) 東京都医師会 千葉県医師会 千葉市医師会
協力:PD就労促進プロジェクト実行委員会 鹿兒島県PR観光課 PD Cafe 服部 信孝 松野 裕
2022年/日本/カラー/5.1ch/114分 ©いまダンスフィルムパートナーズ

imadance.com AFF2



twitter



facebook



「水曜どうでしょう」の テーマソングで知られる、 パーキンソン病のミュージシャン 樋口了一が俳優に初挑戦



仕事一筋で家庭を顧みなかった主人公が、
ある日40代で若年性パーキンソン病と診断され、
病いをきっかけに出会った人たちや「ダンス」を通じて、
自らの生き方を見つめ直していく…

難病の中年サラリーマンの、
みっともなく
なりふりかまわない
真っ直ぐな気持ちを込めた
人生というダンスを
見てください
樋口了一

発起人の松野幹孝氏は、証券マンとしての働き盛り2012年、パーキンソン病と診断された。病気の実情が知られていないため、孤立し苦悩した実話をもとに原案を作成し、患者を孤立から救い、病気を知ってもらうため映画化の実現に向けて奔走。22年3月、クランクイン直前に息を引き取った。享年67歳。

『水曜どうでしょう』のテーマソング「1/6の夢旅人2002」や、「第51回日本レコード大賞」優秀作品賞(2009年)を受賞した「手紙～親愛なる子供たちへ～」で知られる樋口了一も、2006年頃からギターが弾きにくくなり、声が出しづらいといった体の不調を感じ始め、その原因がパーキンソン病だと09年に診断されている。現在も定期的にライブを行うなど、故郷の熊本を拠点に音楽活動を続けており、現在59歳、本作の撮影時は58歳。パーキンソン病当事者が主演する劇映画は日本初となる。

ダンスインストラクター役に杉本彩、上司役に塩谷瞬、パーキンソン病仲間にIZAM、渋谷哲平、社長役に吉満寛人、顧客の病院理事長役に新井康弘ら実力派俳優が集結。



服部 信孝 順天堂大学 医学部 脳神経内科 教授

パーキンソン病は進行性の難病ですが、一方で対症療法が可能な疾患です。日本にはおそらく20万人以上いと推定されています。治療は数年ごとに改善されていますが生活の質を考えた場合、十分満足のいくものとは言い難いのが現状です。加えて日本社会のこの疾患に対する理解も十分とは言えません。本作は一人のサラリーマンが、この疾患の偏見を払拭したい思いから計画されたもので、企画した本人は天国から封切りを心待ちにしていると思います。一人でも多くの方が、この映画を観て病気の本質を理解して頂ければと切に願っております。

樋口一
小島のぞみ 山本華菜乃 塩谷瞬 IZAM 吉満寛人 渋谷哲平 新井康弘
椿 鮎子 むかい 誠一 岡村 洋一 森 恵美 西田 聖志郎 澤田 拓郎 あべみほ 静 恵一 今安 琴奈
杉本 彩

監督・脚本・原作:古新 舜(「あまのがわ」[ノー・ヴォイス])
企画・原案:松野 幹孝 エグゼクティブプロデューサー:古新 舜 協力プロデューサー:野村 展代、小川 順也、師尾 郁
ラインプロデューサー:赤間 俊秀 撮影監督:篠田 力 音楽:樋口了一、村上 ゆき 照明:渡辺 大介 録音:加藤 学 美術:本間 千賀子
スタイリスト:吉田 摩奈美 ビューティーディレクター:ビューティ★佐口 助監督:宮本 亮 編集:古新 舜 カラーグレーディング:稲川 実希
VFXスーパーバイザー:渡辺 輝重 監音:岩波 昌志 医療監修:師尾 郁 PDダンス監修:マニシア ダンス振付:相沢 香 主題歌「いまダンスをするのは誰だ?」樋口一(テイチクエンタテインメント)
製作:いまダンフィルムパートナーズ 制作:コスモボックス 配給:アークエンタテインメント
協賛:ウチダシステムズ 市進ホールディングス 森下仁丹 新しい贈与論 美浜神経内科 住友ファーマ エフビー ポストン・サイエンティフィック ジャパン Medtronic
PARKINSON Laboratories 日本みらいキャピタル サンウェルズ 夢ふおと アートオフィスクリエイティブ サンソウシステムズ キヤノンマーケティングジャパン
後援:日本神経学会 日本神経治療学会 日本パーキンソン病・運動障害疾患学会(MDSJ) 東京都医師会 千葉県医師会 千葉市医師会
協力:PD就労促進プロジェクト実行委員会 鹿児島県PR観光課 PD Cafe 服部 信孝 松野 裕
2022年/日本/カラー/5.1ch/114分 ©いまダンフィルムパートナーズ

◎パーキンソン病とは

中脳の黒質のドーパミン産生細胞が減少することにより、寡動(動きが遅く少なくなる)、筋強剛(筋肉が固くなる)、振戦(ふるえ)、姿勢調節障害などの症状をきたす疾患です。加えて、非運動症状として、便秘や起立性低血圧などの自律神経障害、むずむず脚症候群、嗅覚障害、抑うつや幻視などの精神症状を合併することも知られており、しばしば運動症状の前駆症状として出現します。
(日本赤十字社医療センターより引用)



●主題歌 アルバムタイトル

「いまダンスをするのは誰だ?」
2023.8.16発売
TECC-25134 2,500円(税込)



AF2 imadance.com

twitter facebook

10.7(土)よりロードショー
おトクな特別鑑賞券! 劇場窓口のみポストカード(2枚組)プレゼント! (限定数)
一般:大高生 ¥1,500(税込) (一般 ¥1,800:大高生 ¥1,500(税込)の処)

新宿駅東南口階段下 甲州街道沿道コモショップ左入ル

新宿 K's cinema

03(352)2471 www.ks-cinema.com 各回入替・全席指定席